



こんな姿を目指します

<学校の姿>

- ① 児童一人一人を大切に、生き生きと活動する学校
- ② 清潔で、明るいあいさつと笑顔のあふれる学校
- ③ 安全・安心な学校づくりに努め、家庭や地域に信頼される学校

<学級の姿>

- ① 友達の良さを認めあう温かい学級
- ② 遊びと勉強の時間のけじめがついている学級
- ③ 目標に向かって、リーダーを中心に、みんなが頑張る学級

チーム干潟

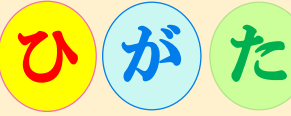
笑顔と感動

<教師の姿>

- ① 愛情豊かで、厳しさと温かさを兼ね備えた教師
- ② 健康で明るく、教育への情熱と使命感を持つ教師
- ③ 教師力の向上に努め、児童や保護者、同僚から信頼される教師

<願う家庭の姿>

- ① 家族の時間を大切に、学校の話題を笑顔で語り合う家庭
- ② 家族の一員としてお互いを尊重し、積極的に協働できる家庭
- ③ 子どもを信頼し、自立への成長を見守れる家庭



ひらめく

がまんぶよく

たくましく

確かな学力と思考・判断・表現力のある干潟っ子

豊かな心と明るい社会性のある干潟っ子

やり抜く意志と健やかで体力のある干潟っ子



地域に学び、地域と共に歩む干潟小学校

<学校経営の基本方針>

- ① 法に則した公教育を推進する。憲法、各法令・学習指導要領を遵守し、県及び市の学校教育指導の指針に従って指導する。
- ② 児童一人一人の良さや可能性を見だし、認め、誉めることを大切に、個性の伸長を図り、「生きる力」を育む。
- ③ 全職員が学校経営に参画し、創意工夫と協働体制により、機動力のある組織をつくり、学校教育目標の具現化を目指す。
- ④ 組織マネジメントの視点から、学校評価を効果的に活用し、PDCAのサイクルによる学校経営の継続的な改善に努める。
- ⑤ 地域との連携を通して、魅力あふれる学校づくりを推進する。

<児童への指導・共通キーワード>

- ① 「干潟スタンダード」の徹底
 落ち着いた言動がとれる子
 (元気なあいさつと返事)
- ② いじめ防止(人に優しくする)
- ③ 危機回避能力の育成
(交通事故防止、安全意識を高める廊下歩行)
- ④ めあてをもった読書の奨励
- ⑤ 1日1回は、汗をかく活動の励行
(徒歩登下校・外遊び・歌声・清掃等)

項目	具体策
確かな学力の育成	① 学習指導の充実 ■ <u>新学習指導要領への円滑な移行を図る。</u> ■ 「 <u>主体的・対話的で深い学び</u> 」の実現を目指す。 ・習得・活用・探究の学習プロセスを意識した授業構成 ・体験的な活動・交流の場・作品づくり等の工夫 ・学習意欲の喚起と干潟授業づくり7点セットの活用 ■ 「わかる授業」を推進する。 ・「そうか、わかった!」＝「実感を伴った理解」 ② 学習習慣の確立(家庭学習の徹底と検証の実施) 1年20分 2年30分 3年40分 4年50分 5年60分 6年70分 ③ 「学力・学習状況」検証事業(算数)の推進
	研究主題 確かな学力を身につける算数科学習のあり方 ～素材の視覚化・焦点化を図り共に学ぶ授業づくり～
確かな児童理解に基づいた生徒指導の充実	① 個に寄り添った生徒指導 ・確かな児童理解 (ニーズの把握・的確なアセスメント) ・自己決定の場の重視と自己肯定感の育成 ② 早期発見・早期対応の推進(気づきの力を磨く) ・教育相談体制の充実(学校生活アンケートの実施と活用) ③ チーム支援の充実(保護者も支援者の一人) ・特別支援教育コーディネーターの複数指名 ・一貫性のある計画的、継続的な支援と記録の蓄積 ・個別の教育支援計画の作成(合理的配慮の記載)
家庭・地域と共に歩む学校づくり	① PTA・近隣の学校(保幼・高等学校)や地域の関係団体との協働(学校評議員会、学校保健委員会、青少年育成会議の開催・干潟地区自主防災会・学校支援ボランティアとの連携等) ② 教育情報の発信と成果の共有(学校評価の実施と公表、学校公開、各種たより、HP、スクールメール等、多様なツールを活用) ③ 地域交流活動への参加(絆まつり大会、バザー等)